

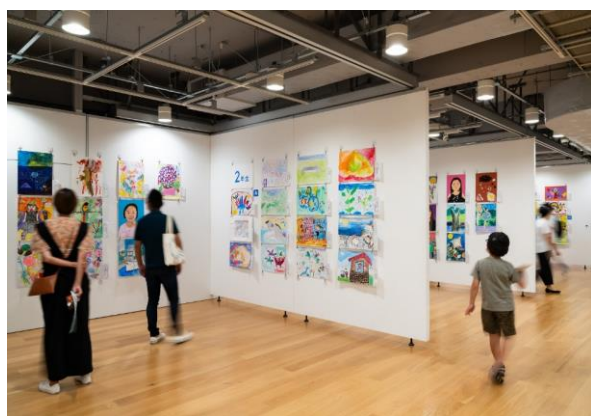


Yokohama Arts Foundation

1965年から続く「横浜市こどもの美術展」 子どもの絵画を大募集！全応募作品を展示します

夏の恒例「横浜市こどもの美術展」は、横浜市民ギャラリーが開館した翌年の1965年から続く子どものための展覧会です。今年は「ひと」「自由テーマ」の2部門で子どもたちが描いた絵画作品を募集します。応募作品はすべて無審査で展示され、横浜市民ギャラリーの展示室(1~3階)がたくさんの子どもの作品で彩られます。横浜市在住・在学の小学生以下の子どもは誰でも応募が可能です。

会場ではあわせて、横浜市民ギャラリーの所蔵作品による「こどものためのコレクション展」や、紙工作に挑戦できる「自由参加ワークショップ」などの関連事業が催され、「みる」「つくる」の両方を体験することができます。夏休みは子ども大人も一緒に、本展でアートな時間をお過ごしください。



昨年の展覧会の様子 photo: Ken KATO

【展覧会概要】

タイトル：横浜市こどもの美術展2024

会期：2024年7月19日(金)~7月28日(日) 10:00~17:00 会期中無休 [10日間]

会場：横浜市民ギャラリー (横浜市西区宮崎町26-1)

入場料：無料

主催：横浜市民ギャラリー (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)

後援：横浜市教育委員会

【作品募集概要】

応募資格：横浜市在住・在学の小学生以下の児童・幼児(0~12歳)

募集作品：絵画(技法は自由)1人1点。四つ切サイズ画用紙(38×54cm)、縦横自由。

※これより小さいサイズの場合は四つ切の台紙に貼って提出。

テーマ：「ひと」部門・「自由テーマ」部門のいずれかを選んで応募。

応募方法：受付期間に横浜市民ギャラリー4階アトリエまで持ち込み(出品無料)。

※応募には「作品カード」「出品申込用紙」の提出が必要。応募前にチラシまたはホームページで作品募集要項を必ずご確認ください。

受付期間：7月4日(木)~6日(土) 10:30~16:00

返却期間：8月1日(木)~4日(日) 10:30~17:30 ※来館引取りまたはゆうパック(着払)で送付。

参加賞：出品者全員に特製缶バッジをプレゼント。

【会期中の催し】

すべて無料／申込不要

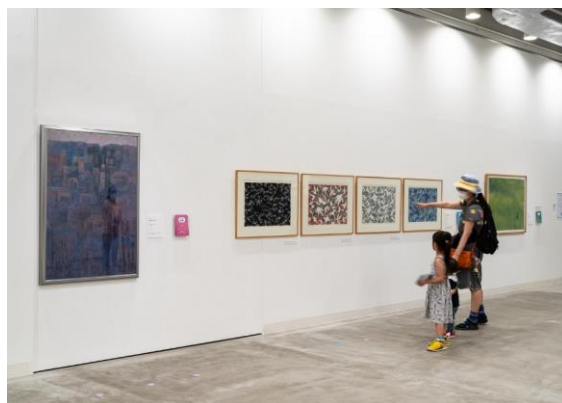
1. こどものためのコレクション展

「みてみよう！〇〇なひと」

会期中毎日 10:00～17:00

会場 | 展示室 2 (予定)

横浜市民ギャラリーの所蔵作品による、子どもと大人が一緒に楽しむ小さな展覧会。今年は作品のなかのさまざまな「人」に注目します。お話ししながら作品をゆっくり見てみよう。



昨年の「こどものためのコレクション展」会場風景 photo: Ken KATO

2. 自由参加ワークショップ「このかおだ～れだ？」

会期中毎日 10:15～16:45

会場 | 展示室 B1 ※子どもも大人も参加できます。

紙工作でだれかの顔を自由につくってみよう！材料には、今年で開館60周年となる横浜市民ギャラリーの新旧さまざま、カラフルな展覧会ポスターを使います。

横浜市民ギャラリーは 1964 年に開館し、今年 4 月に開館 60 周年を迎えました。今年度は 60 周年を記念して様々な事業を展開しています。



「このかおだ～れだ？」制作イメージ

3. ききたがりお兄さん&お姉さんと話そう！

会期中の土日を中心に随時実施

会場 | 展示室 2 (予定)

「こどものためのコレクション展」の会場に、来場者のみなさんとおしゃべりしたい「ききたがりお兄さん&お姉さん」(学生インターン等)が出陣します。作品を見て発見したことや、「すごい!」と思ったことなど、感想を何でも教えてください。みんなのいろいろな作品の見方を共有して楽しみましょう。



会場では、市民ボランティアや学生インターンが活躍。来場者を温かくお迎えます(以前の活動風景) photo: Ken KATO

※ぜひ当事業のご取材、情報掲載をお願い申し上げます。

ご取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

横浜市民ギャラリー【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長 森井 健太郎 担当 河上 祐子 TEL: 045-315-2828